



高松塚古墳壁画発見50周年・奈良文化財研究所70周年
令和4年度秋期特別展

飛鳥美人

高松塚古墳の魅力

2022年

10月21日(金)

12月18日(日)



前田青邨監修 壁画模写(西壁)

【開館時間】午前9時から午後4時30分(入館は午後4時まで) 【休館日】毎週月曜日

【入館料】一般350円、大学生200円、70歳以上・高校生および18歳未満(年齢のわかるものが必要)は無料 *11月3日(木・祝)は無料入館日

【主催】独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所 飛鳥資料館 【後援】文化庁、近畿日本鉄道株式会社

奈良文化財研究所

飛鳥資料館

新型コロナウイルス感染症対策にご理解・ご協力をお願いいたします。

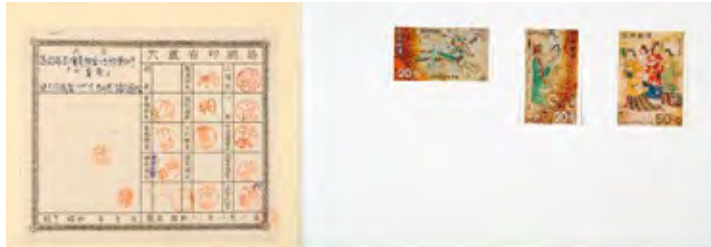
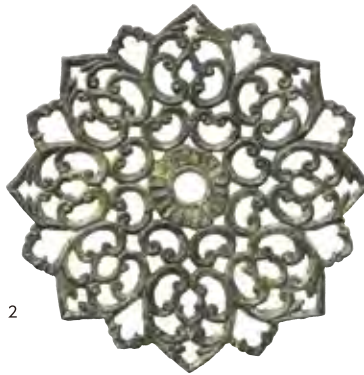
◆マスク着用でご来場ください。◆体調不良、発熱や咳などの症状がある方はご遠慮ください。

◆検温・消毒・ソーシャルディスタンスの確保などにご協力ください。◆そのほか詳細は当館ウェブサイトをご参照ください。



飛鳥美人

高松塚古墳の魅力



昭和47年(1972)3月、高松塚古墳が発見されました。発見は社会的熱狂と飛鳥ブームを巻き起こし、壁画は国宝に、出土品は重要文化財として指定されました。女子群像は飛鳥美人として飛鳥を代表する文化財となり、寄付金付き記念切手はいまもって歴代最多発行部数を誇っています。その後、紆余曲折を経て、壁画・石室は解体され、現在は修理施設で保管・公開されています。

本展覧会では、日本中を魅了した高松塚古墳壁画と出土品の魅力にあらためて迫るとともに、奈良文化財研究所のとりくみを中心に近年の調査研究成果をわかりやすく紹介します。これまでの50年をふりかえり、国宝中の国宝とも言われる高松塚古墳壁画と出土品を次の50年へとつなげる機会となれば幸いです。

- 1.海獣葡萄鏡 2.金銅製透飾金具 3.銀装唐様大刀山形金物
 - 4.金銅製円形金具 5.御嶺山古墳出土 金銅製鏤金具(大阪府立近つ飛鳥博物館) 6.金銅製六花文座金具
 - 7.銅製座金具 8.銅製座金具 9.切手試刷(郵政博物館) 10.切手下図(郵政博物館)
- *1~4.6~8 重要文化財 高松塚古墳出土品

奈良文化財研究所 **飛鳥資料館**
〒634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山601
TEL. 0744-54-3561
<https://www.nabunken.go.jp/asuka/>

[交通]
近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から明日香周遊バス(赤かめ)で「明日香奥山・飛鳥資料館西」下車、または近鉄・JR桜井駅から奈良交通(36系統:明日香奥山・飛鳥資料館西行)バスで「飛鳥資料館」下車
[駐車場]
無料 普通車11台分(近くに有料駐車場あり)